



# 知多市公共施設等総合管理計画の 概要について

---

平成29年12月2日（土）  
公共施設再配置市民ワークショップ



# 公共施設等総合管理計画

## 公共建築物

(小・中学校、幼稚園・保育園、市役所など)

学校教育課

幼児保育課

総務課

## インフラ施設

(道路・橋りょう、公園、ため池など)

土木課

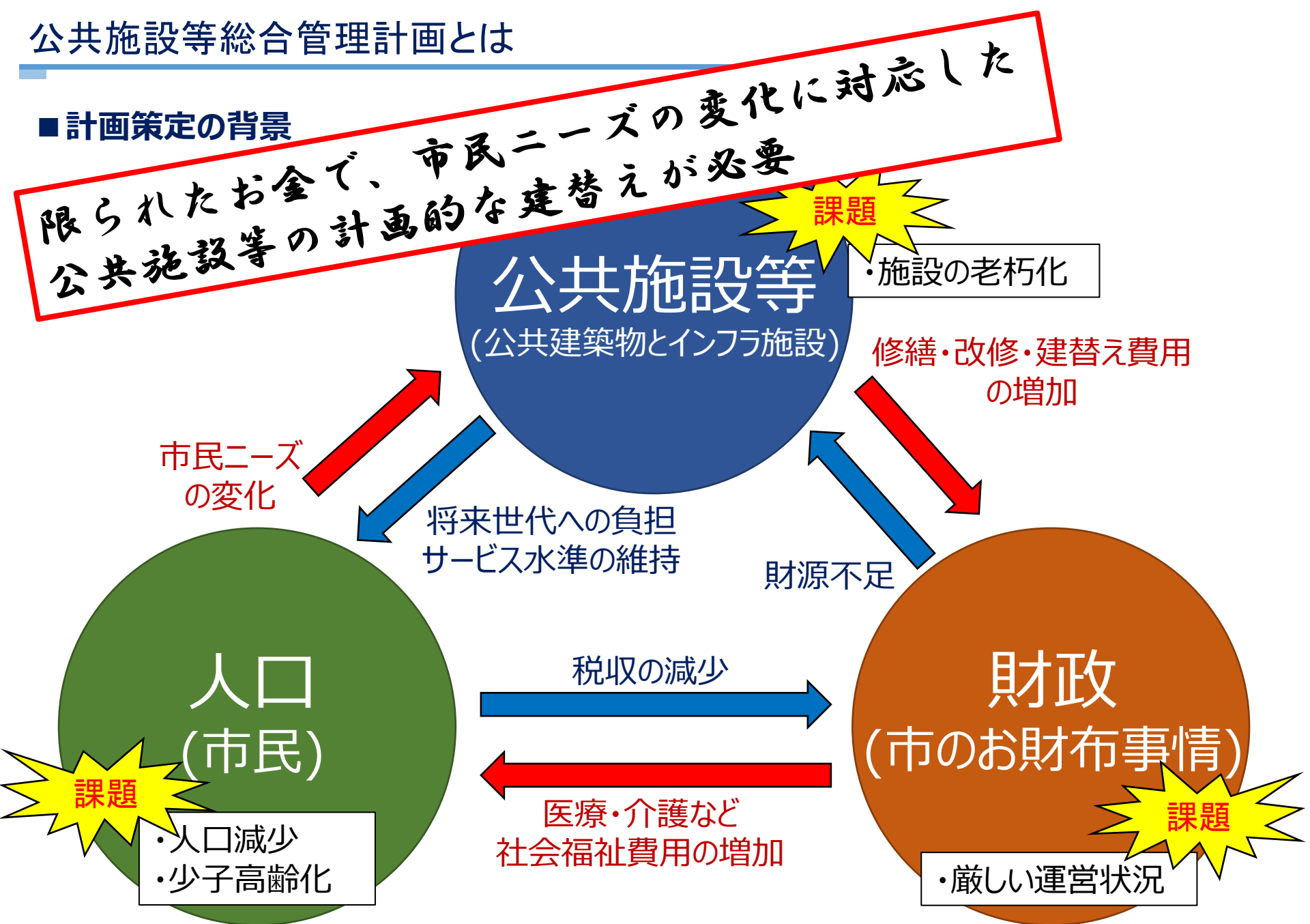
緑と花の推進課

農業振興課

# 公共施設等総合管理計画とは

## ■ 計画策定の背景

限られたお金で、市民ニーズの変化に対応した公共施設等の計画的な建替えが必要



## ■ 計画策定の趣旨

### 本当に必要な公共サービスの提供

- ・公共施設等の安全、安心、持続的な利用
- ・市民ニーズの変化への対応

### 財政負担の軽減・平準化

- ・公共施設等の修繕・改修・建替えに係る財源の確保
- ・持続可能な財政運営

### 公共施設等の全体の状況把握

- ・ばらばらに管理している公共施設等の情報の把握（管理の一元化）

### 公共施設等の総合的な管理

- ・長期的な視点をもった、計画的な公共施設等の修繕・改修・建替え
- ・公共施設等のあり方、基本方針等の設定

# 公共施設等の全体の状況把握

## ■ 公共建築物

施設類型	
大分類	中分類
市民文化系施設	集会施設
	文化施設
社会教育系施設	図書館
	博物館・公民館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設
産業系施設	産業系施設
学校教育系施設	学校
	その他教育施設（給食センター）
子育て支援施設	幼稚園・保育園
	幼児・児童施設
保健・福祉施設	高齢福祉施設
	障害福祉施設
	保健施設
	その他社会福祉施設
医療施設	医療施設
行政系施設	庁舎等
	消防施設
	その他行政系施設
公営住宅	公営住宅
公園	公園（管理棟や便所）
供給処理施設	ごみ処理・リサイクル施設
その他	その他（倉庫、斎場、排水機場など）
	普通財産（医師住宅、廃止施設など）

※会計が違いう上・下水道施設は除いています。

# 公共施設等の全体の状況把握

## ■ 公共建築物

**158施設**



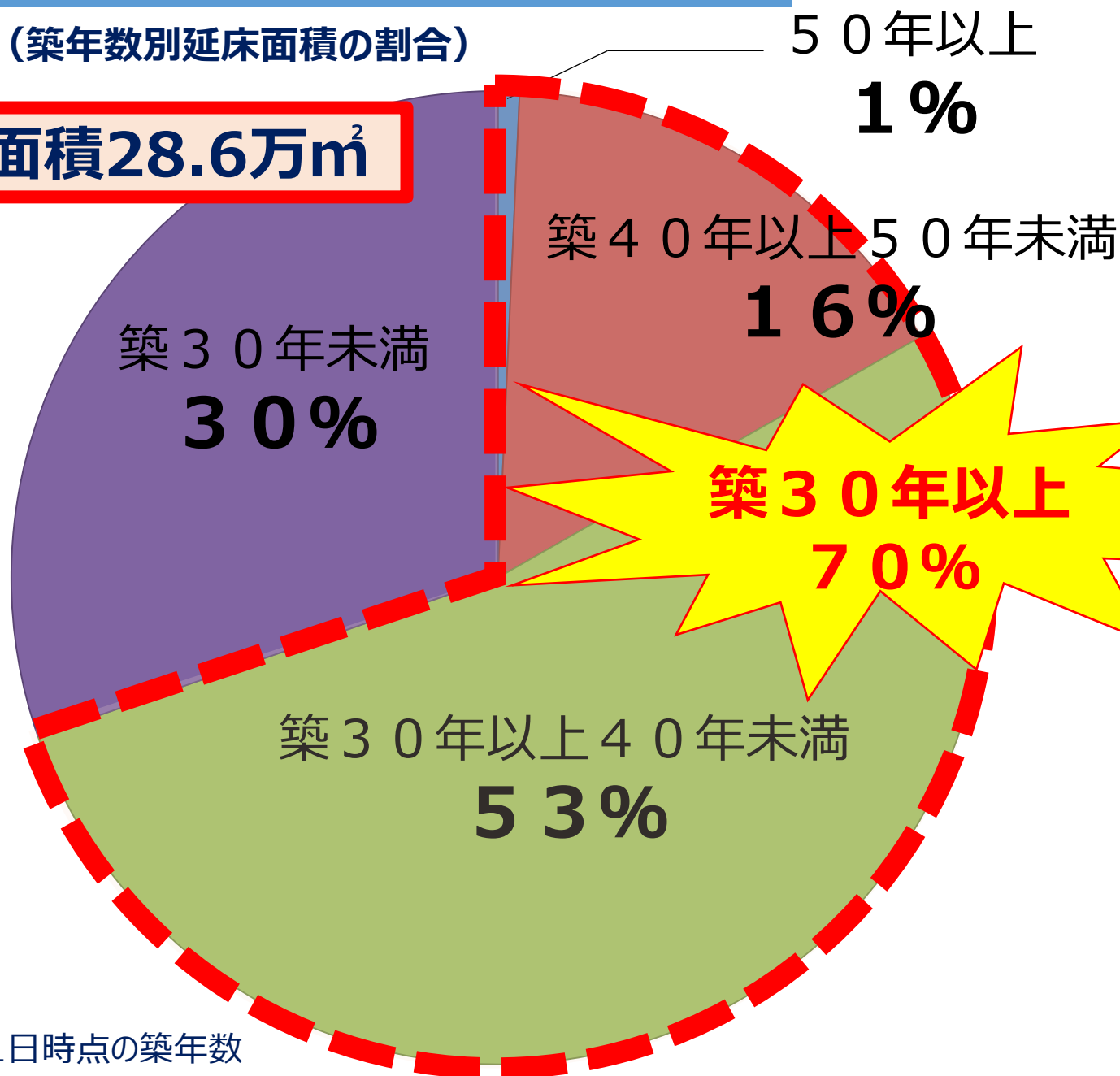
※平成28年4月1日時点の施設数

※会計が違う上・下水道施設は除きます。

# 公共施設等の全体の状況把握

## ■ 公共建築物（築年数別延床面積の割合）

総延床面積28.6万㎡



※平成28年4月1日時点の築年数



# 公共施設等の全体の状況把握

## ■ インフラ施設

施設類型	対象施設
道路施設	市道
	橋りょう
	道路照明灯
河川管理施設	河川
	用悪水路
	調整池
	ひ門
海岸施設	護岸
公園・緑地	都市公園
	広場・都市公園以外の公園
	児童遊園・ちびっ子広場
農業用施設	農道
	ひ門
	ため池
消防・防災施設	防災無線施設
	防火水槽

※会計が違う上・下水道施設は除いています。

# 公共施設等の全体の状況把握

## ■ 公共施設等の修繕・改修・建替えに係る経費の見込み（試算結果）

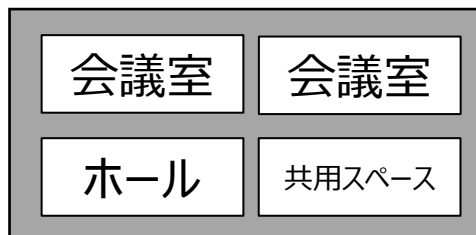
	今後40年間	平均
<b>投資的経費</b> (公共施設等の整備等に要する経費)	<b>469.6</b> 億円 (40年後まで続くと仮定)	<b>11.7</b> 億円/年度 (過去5年の実績)
<b>公共施設等</b> (修繕・改修・建替えに係る経費の見込み)	<b>1008.2</b> 億円 (試算結果)	<b>25.2</b> 億円/年度 (試算結果)
<b>不足額</b> (投資的経費と公共施設等の差額)	<b>△538.6</b> 億円	<b>△13.5</b> 億円/年度

- では、不足額を解消するためにはどうしたらよいか・・・

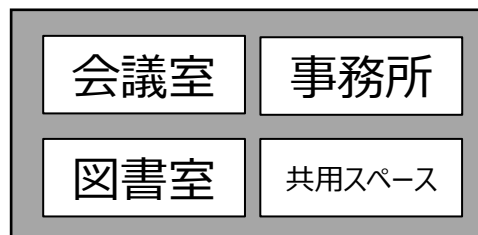
## 公共建築物の総量の適正化

本当に必要な公共サービス（機能）を維持しながら  
公共建築物（ハード）を集約して総量を縮減

施設A



施設B



修繕・改修・  
建替えに係る経費  
の縮減

運営の効率化

会議室	会議室	事務所
ホール	共用スペース	図書室

維持管理の  
適正化



## 公共施設等総合管理計画

本当に必要な公共サービスの提供 財政負担の軽減・平準化  
公共建築物の総量の適正化 運営の効率化 維持管理の適正化 など

## 公共施設再配置計画

個々の公共施設（公共建築物＋機能）について、  
具体的な再配置（いつ・どこに・どのように…）を検討しています